

国文学研究資料館 | 北京外国語大学

第12回 日本古典籍セミナー

2024年3月30日 (土)

## 日本漢詩文の場とかたち

尼門跡における漢詩文：  
大成聖安（1668-1712）の漢詩を例に

---

堀川暢子 | Assistant Teaching Professor of Japanese @シアトル大学

皇族や公家など高貴な身分の人が住持である仏教寺院

男性 → 門跡

女性 → 比丘尼御所（室町期・近世）  
尼門跡（1888年～）

# 17-18世紀の比丘尼御所の繁栄

大成尼の父、後西天皇（1638-1685）には28人の子供がいた。

16人の皇女

8 → 比丘尼御所（大成尼も）

2 → 内親王

6 → 夭逝

12人の皇子

7 → 門跡

3 → 親王

2 → 夭逝

生育我身大悲母  
西方教主弥陀尊  
真如真實本一跡  
一跡現三同一身

野備呈 別宗和尚以述  
取解亦乞 印可  
千聖無蹤又何覓  
一踏今破太虛空  
聞無聲也見無色  
金剛眼睛今古通

冬日書懷  
空林蕭索帶風  
霜出竹窗前已  
夕陽靛月秋宵  
程恨短為花春

伴小一鳥一様こ  
一とくう一とく  
此のわがまゝの梅  
必笑う  
老翁



# 比丘尼御所の皇女たちの作品

画像出典：Institute for Medieval Japanese Studies, et al. eds. *A Hidden Heritage: Treasures of the Japanese Imperial Convents*. Sankei Shimbun, 2009.



# 大成聖安尼（1668-1712）

- 後西天皇の娘。
- 3歳で比丘尼御所の一つ、曇華院に入寺。
- 11歳で得度し、住持となる。
- 45歳で亡くなる。
- 曇華院の「中興」と呼ばれる。
- 聖安（法諱）
- 大成（道号）



大成聖安尼像（18世紀）曇華院蔵  
*A Hidden Heritage* (2009) p. 80

# 曇華院

- 起源：通玄寺（14世紀）
- 宗派：臨濟宗派
- 開基：智泉聖通（1309-1388）
  - 天龍寺（京都五山第一位）

# 大成尼の漢詩

皇女としての漢詩文の教養＋漢詩文で書かれた仏典の勉強＋  
五山派の漢詩文創作の伝統

276首の漢詩

- 仏教の文脈で詠まれた漢詩
- 仏教の文脈の外で詠まれた漢詩

# 拙偈三章謝證法（一）（n.d.）

世外松風堂上幽  
傳燈的々瑞光浮  
了然記得古人句  
粉骨碎身不足酬



# 佛成道 (1699年)

臘八曉星發瑞光  
瞿曇面目露堂々  
弊衣瘦骨雪霜苦  
出得山來猶覺長

# 和月心西堂韻 (1703年)

城西數里入山房  
遠繞龜峰河水長  
堪賞筆花芳紙上  
春林何止富風光

# 宮中見花 (1697年)

洞裏樓臺引步遲  
清漣洗穀滿瑤池  
夜來明月映花影  
一刻千金是此時

# 螢 (1698年)

捲簾靜坐綺窗前  
風引群螢流暮天  
點點增輝深艸裡  
更疑星斗落籬邊

# 遊清閑寺值雨 (1701年)

山寺蕭條帶雨行  
時聽幽鳥兩三聲  
如今記得前朝事  
坐愛楓林無限情